

# テレワークについて

---

令和3年度 1年 電気電子工学科

中屋 堯舜

山川 実謙

# テーマを選んだ理由

---

昨今の新型コロナウイルス感染者増加に伴い、  
多くの企業で『テレワーク』  
という働き方を執るようになったので、  
興味を持ち、その現状と問題点について  
まとめようと考えました。

# 現状について

---

テレワークは現状、下記のような形を執っていると、思われます。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大によって、また、感染拡大防止のため、この『テレワーク』という働き方が必然的に執らざるを得なくなった。
- ・自宅等の人の密集しない場所から、通信機器を利用して音声、映像、を通じて  
コンタクトを取りながら、仕事を行う。

# 問題点について

---

テレワークという働き方を執ることによって、下記のような問題点が起こると思われます。

- ・運動不足
- ・工場、建設現場等の、直接的な作業が不可能である。
- ・通信環境が整っていない場所、もしくは良好でない場所での、仕事の凍結、効率の低下。

# 課題について

---

前述の問題点から、下記のような課題の達成が必要だと思われる。

- ・運動不足の改善
- ・遠隔操作機能の執り入れと、少数での出勤の施行
- ・通信環境の整備、改善

# 提言

---

下記が以上の課題を解決するために私たちが提案する解決策です。

## 運動不足について

- ・出勤のための時間が無いので、普段出勤に費やしている時間だけでも運動に時間を割くことで多少は運動不足という問題が解決されると思われます。

## 直接的な操作の必要な仕事の凍結

- ・可能な限り、遠隔操作を執り入れる。必要最低限の人数での出勤。これらを施行することで直接的な操作の必要な仕事の凍結が解決されると思われます。

## 通信環境について

- ・会社側での通信環境の整備の負担。これにより通信環境の問題が解決されると思われます。

# 考察・感想

---

今回、テレワークというテーマについて、現状から課題までをまとめ、提言をさせていただきましたが、案外、個々が気を付ければ解決できる問題だったので、新しい働き方として完成度が高いものだとわかりました。

また、このようにしっかりとPowerpointを使っての発表は中々なかったので良い経験になったと思います。

ありがとうございました